

令和7年7月25日

西脇市長 片山 象三 様

西脇市まちづくり推進審議会  
会長 平田 富士男

## 西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について

令和7年7月10日に開催した当審議会のまちづくり活動審査部会において審査したみだしのことについて、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程第7条第2項に基づき、本審議会の意見として提出します。

## 記

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助決定額 (補助対象額)	補助率 (%)
はじまりはGAZAいのちのつどい西脇	農業危機を考える「鈴木宣弘」講演会	365,000円 (250,000円)	250,000円 (359,000円)	69.6
IWA兵庫ポニー	西脇中学硬式野球の環境づくり事業	420,000円 (300,000円)	300,000円 (420,000円)	71.4
自然探索グループ	稀少蝶の保護、『蝶の庭』活動事業	239,000円 (230,000円)	230,000円 (239,000円)	96.2
わいわいまちなか事業	わいわいまちなか事業	325,000円 (300,000円)	300,000円 (305,000円)	98.4
西脇商工会議所青年部	日本の中心で愛を探す婚活事業	320,000円 (300,000円)	300,000円 (320,000円)	93.8
ひらくSDGsラボ	ひらくSDGsラボ事業	330,000円 (300,000円)	300,000円 (330,000円)	90.9
おへそたち！！	おへそたち！！事業	330,000円 (300,000円)	300,000円 (330,000円)	90.9

にしわき人形劇普及活動会	にしわき人形劇フェスティバル事業	490,000円 (300,000円)	300,000円 (490,000円)	61.2
「大リーグ研究に生涯をかけた今里純」実行委員会	第2回「大リーグ研究に生涯をかけた今里純」特別展事業	357,000円 (300,000円)	300,000円 (357,000円)	84.0
合 計		3,176,000円 (2,580,000円)	2,580,000円 (3,150,000円)	—

1. 採択団体（9団体）

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙審査個票のとおり。

**はじまりはGazaいのちのつどい西脇**  
**代表 藤井 江利子 (会員 5名)**

①	事業種類	対象地域	市内全域及び北播磨各地		実施期間	7.4.1 ~ 8.3.31	
②	予算 / 要望額 / 補助 / 対象額	予算	¥ 365,000	要望額	¥ 250,000	補助対象額	¥ 359,000
③	事業名	農業危機を考える「鈴木宣弘」講演会					
④	事業目的	<p>全国で「世界で最初に飢えるのは日本」を訴えて、農業の危機を警鐘を鳴らし続けておられる東京大学大学院特任教授・名誉教授の鈴木宣弘氏を迎えて、人権、平和、農業から見た安全保障について深く学ぶ。また、同時に有機農業のマルシェを会場で開催し、新しく農業に関わろうとする若い人たちの交流を図る。</p>					
⑤	事業内容	<p>農業と人権、平和に関心のある市民の方々に集まっていただき、令和7年7月13日に西脇市茜が丘複合施設みらいえ多目的ホールにおいて、鈴木宣弘氏の講演会、有機農業交流マルシェ、音楽演奏などの行事を実施する。</p> <p>広く西脇市民の方々に連絡して、学び知ってもらうことで農村の活気あるまちづくりについて関心を高めたい。次代を担う若い人たちの交流を進めるきっかけを作りたい。他町村で、先進的に農業に取り組んでいる方たちとも交流し学びあいたい。</p>					
⑥	事業効果	<p>①主食である米の自給率が37%という危機、5kgの米が4,000円も5,000円もする高騰騒ぎ。日本の農業はどうなっているのか。鈴木氏の深い知見と洞察に触れて、市民レベルで考える大きなきっかけになる。</p> <p>②農業を守り、育てていくことが地方を活性化し、ひいては国の安全保障につながっていく。生産者と消費者の人権に関わる認識が大きく広がる。</p> <p>③有機農業交流マルシェによって、楽しみながら、参加者との交流が進み、若い世代が、知り合いとなります。</p>					
⑦	事業の特色	<p>①全国で、テレビで活躍する鈴木宣弘氏本人が西脇に来ていただき直接、お話が聞け、質問できること。日本の農業の危機を訴えられている熱い思いに触れられること。</p> <p>②資料を使った内容はわかりやすく、日本の農業の現状を多角的に理解できる。</p> <p>③当日は、生演奏あり、有機農業の販売物もありで、参加者に楽しんでもらえます。ワークショップで子供連れの方も楽しめる。</p>					
⑧	今後の展開	<p>はじまりはGazaいのちの集い西脇では</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024.1.13元イスラエル兵ダニー・ネフセタイ講演会（サンバル日野）</li> <li>・2024.5.17来住家住宅ギャラリーにて平和大博覧会芸術なのだ実施</li> <li>・2024.9.4~9.15三木市のギャラリー「しゅう」にて、アートの種工場作品展</li> <li>・2024.10.5みらいえ多目的ホールにて土井敏邦監督映画「ガザからの報告1部2部」上映会</li> <li>・2025.7.13みらいえ多目的ホールにて鈴木宣弘氏講演会予定</li> </ul> <p>今後は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2025.9.17三木市のギャラリー「しゅう」にてアートの種工場の作品展2回目予定</li> <li>・2025.11.20みらいえ多目的ホールにて人権、平和の作品展&amp;アートマルシェ開催予定</li> </ul>					

**IWA兵庫ポニー**  
代表 浅香 健一 (会員23名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	7.4.1 ~ 8.3.31	
②	予算 / 要望額 / 補助対象額	予算	¥ 420,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 420,000
③	事業名	西脇市中学硬式野球の環境づくり事業					
④	事業目的	<p>中学硬式野球の指導、交流試合・野球教室の実施等を通じて参加する子ども達の夢や目標を共有しながら学校、学年、地域を超えた交流、仲間づくりを行うことで青少年の健全育成に繋げる。</p> <p>また、子どもたちが「野球のまち西脇」において硬式野球に触れるきっかけをつくり、選手達の未来の活躍に向けて、今後進んでいくクラブ活動の地域移行の一つの受け皿として環境を整え、地域のスポーツ文化を継続しながら、スポーツによるまちづくり硬式野球を定着させ、西脇市の発展に尽力する。</p>					
⑤	事業内容	<p>月10回程度、市内の野球場（黒田庄ふれあいスタジアム・城山グラウンド・夢グラウンド等）において練習・試合・野球教室を行い、野球を通じての地域活性化に努める。そして、「野球のまち西脇」を更にアピールする。</p> <p>市内の野球場については予約が取れないことも多いため、簡易な練習ができるグラウンドを自分たちの手で整備し、野球場が使用できなくても硬式野球が実施できる環境を作り、使用しないときは開放する。</p> <p>また、子ども達が夢や希望を持って好きなことに向き合い、西脇市で野球に励みたいと思ってもらえるように講師を迎えての野球教室を積極的に行い、硬式野球を通じての地域間交流・新たな仲間たちとの交流・地域発展に繋げる。</p> <p>あわせて、日頃の練習の成果を披露するとともに同じ競技で切磋琢磨する仲間たちとの交流を図るため、広く市内外に呼びかけ野球大会（交流試合）を開催し、子どもたちの交流、仲間づくりを進めるとともに「野球のまち西脇」をアピールする。</p>					
⑥	事業効果	<p>小児化・人口減少が進む中で、子どもが多くの人と触れ合える交流行事は少なくなっている。そのような中で希望する子どもたちが新たなコミュニティで硬式野球を通じて交流を深め、自己実現につなげながら団体競技をともに作り上げていく環境で仲間をつくることで、青少年の健全育成につなげることができる。</p> <p>また、クラブ活動の地域移行が進んでいく中で、西脇市で野球ができる地域の受け皿として環境を整えていくことで、これからの担う市内の子供達や他地域の子供達の人材育成や、地域のスポーツ文化の活性化、西脇市で野球を打ち込める環境を作り上げることができ、地域コミュニティ全体の活性化につながるなどの効果が期待できる。</p>					
⑦	事業の特色	<p>西脇市においてはこれまで13人のプロ野球選手を輩出するなど「野球のまち西脇」として盛んに野球競技が行われてきた。しかしながら、西脇市には通年的に中学硬式野球に親しみ、学ぶような団体は現在活動していない。そこで、硬式野球を学びたい、また親しみたい中学生たちのために通年的な活動を行い、西脇市の中学生が西脇市で硬式野球に親しむ機となる活動を進めたい。</p>					
⑧	今後の展開	<p>スポーツは、青少年の心身の健全な発達に好影響をもたらすと考える。そのため本事業を継続して実施することにより子供達がスポーツに触れる機会を増やし、将来にわたってスポーツを楽しみ、またその意義を感じ取ることを通じて心身の健全な成長につなげたい。</p> <p>また、クラブ活動の地域移行を見据えて指導者や運営者の育成などにもつなげ、中学硬式野球を通した新たなコミュニティを作り上げていく。</p> <p>あわせて、本事業活動を広く発信させ「野球のまち西脇」を幅広くアピールし、地域の活性化につながる活動を進めていきたい。</p>					

**自然探索グループ**  
代表 廣田 昭治 (会員18名)

①	事業種類	対象地域	市内全域及び多可町		実施期間	7.4.1 ~ 8.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 239,000	要望額	¥ 230,000	補助対象額	¥ 239,000
③	事業名	稀少蝶の保護、『蝶の庭』活動事業					
④	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西脇・多可の自然を探索し、蝶の生態・生息状況を地域に発信する。</li> <li>・稀少蝶（ギフチョウ）が生息できる環境・保護を考えるきっかけにする。</li> <li>・市民が身近な蝶とふれ合い、生き物や自然に親しみ豊かな心を育む。</li> </ul>					
⑤	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇へそ公園地球科学館テラ・ドーム前の花壇『蝶の庭』を整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に花壇整備（植替え・灌水・草刈り等）</li> <li>・アサギマダラ飛来の環境整備（フジバカマ）</li> <li>・ジャコウアゲハ生育環境整備（ウマノスズクサ）</li> <li>・「蝶の庭」観察会 5／5（こどもの日）</li> </ul> </li> <li>◇学校支援 小3理科「蝶を育てよう」 （要請に応じて出前授業）</li> <li>◇ギフチョウの生息調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンアオイ自生地と卵調査</li> <li>・幼虫飼育・観察・蛹化（越冬）→放蝶</li> </ul> </li> <li>◇ニホンミツバチの飼育・観察</li> <li>◇講演会 11月予定 『ニホンミツバチの生態とわたし達の暮らし』</li> <li>◇蝶の観察写真展（11月予定） ※要請があれば学校開催も可</li> <li>◇『蝶の庭』に観察用案内看板設置 ・蝶の写真、種名・食草等を説明</li> <li>◇地域と連携した里山環境保全活動を進める</li> </ul>					
⑥	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『蝶の庭』整備活動の継続により、季節の草花がつつぎ花壇を彩り、テラ・ドームを訪れる人や公園を散策する方々に楽しまれている。</li> <li>・飛び交う蝶にも少しずつ関心が寄せられている。</li> <li>・学校支援ボランティア 小3理科「蝶の飼育」 出前授業では、チョウとの触れ合い授業に子ども達の興味・関心が高まる。</li> <li>・5／5（こどもの日）には、『蝶の庭』観察会を催し、親子で蝶の観察。ボランティアスタッフが蝶の説明をし、100名超えの参加があった。</li> <li>・蝶の観察写真展 西脇・多可に生息する蝶。見学者は身近な蝶の名を知り、親しみや関心を寄せている。</li> </ul>					
⑦	事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蝶が飛び交う『蝶の庭』整備 公園を訪れる人々が蝶に親しみ、憩い・やすらぎの場にする。四季を通し花が咲く庭づくり</li> <li>・旅する蝶「アサギマダラ」が飛来する環境整備 フジバカマの栽培</li> <li>・学校支援 要請に応じて出前授業 小3理科「蝶の飼育」</li> <li>・蝶の観察写真展 要請があれば学校での展示も行う</li> <li>・地域との連携 地域に出向き蝶の観察会を行う ギフチョウ（稀少蝶）保護への関心を広げる</li> </ul>					
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「蝶の庭」整備 →今後も可能な範囲で取り組みを継続 →地域との連携を検討する。</li> <li>・蝶の生態・保護についての研修を深め地域に発信する。 →市内各所での観察写真展 →市内の研究グループとの交流 →ギフチョウ保護について、他市との取組・交流 →地域と連携し、蝶・食草保護の為に看板設置を検討</li> <li>・ニホンミツバチの生育環境調査・飼育・観察 →蝶・ニホンミツバチから生物多様性や自然環境保護を考えるきっかけづくり →地域の養蜂活動団体との交流・連携</li> </ul>					

**わいわいまちなか**  
代表 **船田 耕造** (会員 5名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	7.4.1 ~ 8.3.31	
②	予算 / 要望額 / 補助 / 対象額	予算	¥ 325,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 305,000
③	事業名	わいわいまちなか事業					
④	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかにおける自然空間（杉原川の河川敷）でのマルシェイベントを開催し、交流活動を推進することでまちなか活性化を図る。</li> <li>・市内の各地域で活動している方に積極的に出店してもらい、地域間の垣根を超えた交流を深める。</li> <li>・市内外へ広くイベントをPRし参加してもらうことで、参加者に西脇市の特産品、自然空間、地域性等をPRするきっかけとする。</li> </ul>					
⑤	事業内容	<p>令和7年6月1日（日）と11月2日（日）の年2回 蓬萊橋下の河川敷を利用したマルシェイベントの開催 対象：市内外全域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治協議会に声掛けし、出店者を募り、特産品等の販売ブースを設ける。</li> <li>・まちづくり活動をしている市民団体や自治協議会などのアピールの場およびマネタイズの機会とする。</li> </ul>					
⑥	事業効果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の絆の強化 イベントを通して住民同士の交流が深まり、地域全体の結束力が高まる。</li> <li>2. 地元経済の活性化 地元の店舗や団体が参加することで地域経済が活性化し、新しいビジネスチャンスが生まれる。</li> <li>3. 地域の魅力発信 イベントを通して地元以外の人にも特産品や地域をアピールできる。</li> <li>4. 住民の生活の質の向上 家族や友達と楽しむ時間が増え、コミュニティの活気が増す。</li> </ol>					
⑦	事業の特色	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開催のしやすさ 車のまま河川敷に降りられるため出店者の労力も少なく、運営スタッフの業務も減らすことが可能</li> <li>2. 写真映える 自然（川や山）とまちなか風景のコントラストが良い。</li> <li>3. 参加者と一緒に作り上げていくイベント 企画や反省点の見える化と共有を行い、回を重ねるごとにブラッシュアップしていく。</li> </ol>					
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に実施可能な仕組みを作り、西脇の新たな文化になるよう年2回の継続的な開催を行う。</li> <li>・イベントを通じて出店者や参加者に気付きを与え、各地域で開催されるイベントに刺激を与えたい。</li> <li>・まちづくり活動に関心を持ってもらえるように市内で活動している方に積極的に声をかける。</li> </ul>					

**西脇商工会議所青年部**  
**代表 村井 伸行 (会員24名)**

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	7.8.1 ~ 8.3.31	
②	予算 / 要望額 / 補助対象額	予算	¥ 320,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 320,000
③	事業名	日本の中心で愛を探す婚活事業					
④	事業目的	婚活事業により独身の男女が結ばれて結婚や出産をしてもらうことで西脇市に1人でも定住者を増やし消滅可能性自治体から脱却して持続可能な街となることを目指す。					
⑤	事業内容	西脇市在住または西脇市に移住を考えている独身の男女を対象に婚活イベントを開催する。 <実施予定> 夏(8月頃) : 日本のへそキャンプ場・BBQ 秋(10月頃) : 西脇ロイヤルホテル・立食形式 冬(12月頃) : 市内飲食店・コンパ形式					
⑥	事業効果	独身男女の出合いの場を提供することがきっかけとなり、西脇市で結婚→定住→出産とライフステージを歩んでもらうことで、西脇市の人口減少を低減する。 若手経営者が世話人であり市内で活躍する活気ある若者および地元企業を見てもらうことで西脇市に関心を持ってもらい、併せて暮らしやすさなど西脇市の魅力発信となることを期待する。					
⑦	事業の特色	少人数(男女10名程度)の開催により参加者同士のコミュニケーションを取りやすくする。 その分、複数回開催(都度募集・連続参加可)することで、出合いの質と量を提供する。 また、実施方法を変えて開催することで参加者の個性を引き出してマッチング率の向上を狙う。 地域の若手経営者が世話人であり、生活での困りごとなどがあれば頼ってもらうなど西脇市での暮らしやすさ・安心感を提供する。					
⑧	今後の展開	今後も継続して婚活事業を行うことで商工会議所の青年部が開催する婚活イベントの定着化を図る。 同様の活動を行う他団体と合わせて西脇市では婚活イベントが色々と開催されているという状況により相乗効果的に参加者が増加することを期待する。 それにより、婚活イベントでのマッチング数も増加して、結婚→定住→出産と人口増加につなげることで西脇市の活気向上に寄与する。					

**ひらくSDGsラボ**  
**代表 藤井 香織 (会員5名)**

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	7.4.1 ~ 8.3.31	
②	予算 / 要望額 / 補助対象額	予算	¥ 330,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 330,000
③	事業名	ひらくSDGsラボ事業					
④	事業目的	持続可能な暮らしについて楽しく学び、また交流の場をつくることで、SDGsを「むずかしいこと」ではなく、「身近で自分ごとなもの」として感じてもらう機会をつくる。					
⑤	事業内容	<p>本事業は、「美と健康」「福祉」「地域資源」にふれながら、持続可能な暮らしについて楽しく学び、交流できる体験型イベントです。          10月頃にみらいえで開催予定です。          下記の3つのテーマに沿って体験型ブースを設けます。</p> <p>①ととのえる（心と身体の健康）  <b>【SDGs目標3：すべての人に健康と福祉を】</b>          ・椅子ヨガやストレッチ体験          ・ハンドケアやアロマなど癒しの体験          ・自然派の発酵食品・軽食の販売</p> <p>②つながる（福祉と地域の交流）  <b>【SDGs目標8：働きがいも経済成長も】 【SDGs目標10：人や国の不平等をなくそう】</b>          ・福祉施設のハンドメイド雑貨販売          ・多世代で楽しめるものづくり体験</p> <p>③ひろがる（地域資源の活用）  <b>【SDGs目標12：つくる責任つかう責任】 【SDGs目標17：パートナーシップで目標を達成しよう】</b>          ・播州織アップサイクル体験          ・地元企業・農家との連携出店</p>					
⑥	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がSDGsを身近に感じる機会となる</li> <li>・健康や福祉、地域資源に関心を持つきっかけづくり</li> <li>・世代や立場を超えた交流と地域のにぎわい創出</li> </ul>					
⑦	事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもも大人もたのしみながらSDGsを体験し、学べること。</li> <li>・子どもは小さいころから身近にSDGsを感じてもらえること。</li> <li>・わたしにも出来るSDGsを体験してもらい、自分ごと化してもらうこと。</li> <li>・市とも連携し、市が制作したSDGs関連のパンフレット等も一緒に掲示し、理解を深めてもらう。</li> </ul>					
⑧	今後の展開	<p>①【学校連携】          現在西脇中学校で実施している特別授業（SDGs×播州織特別授業）のように、他の学校へも展開し、活動を広げていきたい。また、学生が作った作品の展示等もしていきたい。</p> <p>②【企業協力】          地元の企業や専門性のある方とも連携し、アップサイクルの仕方を工夫していきたい。</p> <p>③【定期開催】          季節ごとのフェスタとして定着化させたい。</p> <p>④【福祉連携】          就労継続支援B型を利用している方が作成したアップサイクルの作品を、現状は販売する場がないため、イベント等で販売の場を提供することで活躍の場を広げたい。</p> <p>⑤【継続性】          補助金がなくなった後も継続できるように、出展料を集めたり、今ある団体とも連携したりすることで自走できるようにしていきたい。</p>					

おへそたち!!  
代表 藤原 匠 (会員5名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	7.4.1 ~ 8.3.31	
②	予算 / 要望額 / 補助対象額	予算	¥ 330,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 330,000
③	事業名	おへそたち!!事業					
④	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代を中心とした音楽やアートのイベントを開催し、世代を越えた交流と地域文化の活性化を図る。</li> <li>・市内外の音楽・アートに関心のある個人や団体に発表・参加の機会を提供し、西脇市内に新たな文化の芽を育てる場とする。</li> <li>・イベントを通じて若者が地域に関心を持ち、「自分もやってみたい」と思えるきっかけを創出する。</li> <li>・音楽やアートを軸とした活動を継続的に行うための基盤（機材や人のつながり）を整備し、西脇市における若者の表現活動の土壌を育てる。</li> <li>・ステージ装飾に播州織を用いたり、市内の文化財・公共施設・飲食店を会場として活用したりすることで、西脇市の地域資源やまちの魅力を市内外に発信する機会とする。</li> </ul>					
⑤	事業内容	<p>令和7年7月13日：旧来住家住宅を会場とした音楽イベント「おへそたち!! 第1弾」の開催</p> <p>令和7年10月下旬～11月上旬のいずれか1日： 旧来住家住宅、ミライエ、またはオリナスを会場とした音楽イベント「おへそたち!! 第2弾」の開催 対象：市内外全域の若者および地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外の中学校・高校・高専等に出演者募集を呼びかけ、若者が表現の楽しさにふれるきっかけとする。</li> <li>・音楽・アートを通じた交流の場を提供し、世代や学校・地域を越えたつながりを生む機会とする。</li> <li>・ステージ装飾に播州織を使用し、また会場として文化財や公共施設を活用することで、西脇市の地域資源や魅力を市内外へ発信する。</li> </ul>					
⑥	事業効果	<ol style="list-style-type: none"> <li>①若者の自己表現と地域への愛着を育む 音楽やアートを通して若者が自分を表現する機会を得ることで、自信や創造性が生まれ、「地元でもやれることがある」と感じられる環境をつくる。</li> <li>②地域内の交流促進とつながりの強化 世代や地域を越えたコミュニケーションを生み出すことで、住民同士の関係が深まり、地域全体の一体感が高まる。</li> <li>③地域資源の活用と経済・文化の活性化 地元の店舗・団体の参加や播州織などの地域資源の活用を通して、経済的な波及効果を生むと同時に、新たな文化的活動のきっかけとなる。</li> <li>④西脇市の魅力を内外に発信 イベント開催やSNSでの情報発信により、市外の人々にも西脇の文化や特産品、公共施設の魅力を知ってもらう機会となる。</li> </ol>					
⑦	事業の特色	<ol style="list-style-type: none"> <li>①誰でも参加しやすい場づくり 演奏スキルや経験に関係なく、「やってみたい」という気持ちを大切に、初心者や音楽・アートに興味を持ち始めた若者も気軽に参加できるイベント運営を目指す。</li> <li>②若者の主体的な関わりを促進 出演者だけでなく、ボランティアや企画委員も学生に積極的に公募し、若い世代が自分たちで作り上げる楽しさを感じられる環境を整える。</li> <li>③地域資源を活かした魅力的な演出 播州織など西脇の伝統素材をステージ装飾に使用し、地域の特色を自然にアピールできる工夫をしている。</li> <li>④参加者と共に成長する運営体制 企画段階から参加者や関係者の意見を取り入れ、開催後も反省点や改善点を共有しながら、回を重ねるごとに内容をより良くしていく。</li> </ol>					
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に開催できる仕組みを作り、年2回程度のペースで「おへそたち!!」を実施することを目指す。</li> <li>・イベント開催時には飲食などの出店料を収入源とし、活動資金として運用していく。</li> <li>・「おへそたち!!」の運営チームを組織化し、主催者が不在でも自走できる体制を作るため、メンバー公募を行う。</li> <li>・若い世代が音楽やアートに気軽に挑戦できる環境づくりを進める。</li> <li>・音楽はSNSと相性が良いため、発信力を活かして地域の魅力や参加者の活動を広く届けていく。</li> </ul>					

**にしわき人形劇普及活動会**  
**代表 陰山 聡子 (会員 5名)**

①	事業種類	対象地域	市内全域及び兵庫県内		実施期間	7.4.1 ~ 8.3.31	
②	予算／要望額／ 補助対象額	予算	¥ 490,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 490,000
③	事業名	にしわき人形劇フェスティバル事業					
④	事業目的	<p>1. 人形劇の「子どもが観るもの」という固定概念を払拭し、伝統的な芸術に触れることで子どもも大人も一緒に人形劇の世界に入り、驚きや感動、わくわくする気持ちを親子で共有し豊かな親子関係の形成に繋げたい。</p> <p>2. あまり観る機会のないプロ劇団の人形劇や質の高いアマチュア人形劇団を西脇に呼び、子どもたちに本物の人形劇に触れる機会を提供するため。また、学生を含め劇団同士の刺激・交流の場とし、地域の人形劇団の質向上に繋げたい。</p>					
⑤	事業内容	<p>日程：令和8年2月21日～22日の2日間（仮）</p> <p>場所：西脇市茜が丘複合施設Mirai</p> <p>内容：西脇市を人形劇の町に！という思いで集まった保育士を中心に企画した「にしわき人形劇フェスティバル」は人形劇のお祭りです。プロ・アマたくさんの人形劇団に公演をしてもらい、2日間親子で思う存分人形劇を観劇し楽しんでもらえるようにする。</p> <p>また、絵本スペースやワークショップのブースを設置したり、西脇市内外の飲食店や子供服の店舗に協力を依頼したりし、マルシェも同時開催したいと考えている。</p>					
⑥	事業効果	<p>【親と子への効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人形劇に興味関心を持つ人が増える。</li> <li>・人形劇を通して親子の絆が深まる。</li> <li>・デジタルな現代社会の中で、人形劇という伝統的な芸術に触れることで、子どもの感性や感情、表現力が豊かになる。</li> <li>・親も童心に帰り、子どもと楽しい時間を共有できる。</li> </ul> <p>【他団体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力してくださる店舗さまや各機関の関係者の方々にも人形劇の魅力を知ってもらい、今後も共に西脇市の子どもたちの幸せのために協力・連携するきっかけとなる。</li> <li>・人形劇が地域の中でより身近なものとなり、劇団員の方に今後も公演をってもらう機会を作ることで、子どもたちの豊かな人間性を育むことにつながる。</li> </ul>					
⑦	事業の特色	<p>≪子どもの実態を把握し、理解しているメンバーで構成していること≫</p> <p>1. 実行委員の大半が短大保育科の卒業生であり、保育士としてキャリアもあることから、子どもや保護者との関わり方にも慣れているため、困っている方がおられる場合も臨機応変に対応できる。もし、気になる様子が見られた場合には専門機関と連携するなど柔軟に親子のサポートができるよう実行委員全員で共通の意識をもっておく。</p> <p>2. 実行委員自身が子育て世代であることから、周りの友人などに声をかけ、沢山の子どもに参加してもらうことで、共に子育てを楽しみ、盛り上げていくことができる。</p> <p>≪地域との連携≫</p> <p>1. 近隣の子ども園・保育園・学校との繋がりがあり、協力を得られる。</p> <p>2. 実行委員の大半が学生時代に人形劇をした経験があり、プロ・アマの人形劇団との繋がりががあるため、全面的な協力を得られる。</p>					
⑧	今後の展開	<p>にしわき人形劇フェスティバルをまずは一人でも多くの方に知っていただき、参加してもらい、子どもたちの心に残るイベントにしていきたい。そして継続的に開催し、次回開催する際には「あ！」と思いついてもらえるような内容や空間、親子の思い出のひとつになる機会にしたい。</p> <p>今年の人形劇フェスティバルはいつかな？と楽しみにしてもらえるイベントにし、感性や表現力豊かな子が増えることで西脇市を元氣な街にしていきたい。</p>					

**「大リーグ研究に生涯をかけた今里純」実行委員会  
代表 竹本 武志 (会員10名)**

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	7.4.1 ~ 8.3.31	
②	予算／要望額／ 補助対象額	予算	¥ 357,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 357,000
③	事業名	第2回「大リーグ研究に生涯をかけた今里純」特別展事業					
④	事業目的	日米プロ野球の橋渡し役を果たした今里氏の偉業と貴重なコレクションをまとめた書籍が発刊されることと合わせて、今里氏の貴重な資料の公開を市民が主体となって実施し、讃えることによって、西脇市のスポーツ文化の高さをアピールし、野球のまち・西脇のPRにつなげたい。					
⑤	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象／主としては野球関係者となるが、広くは市民、全国民、プロ野球関係者に通知する。</li> <li>・時期／9月に元大リーガー村上雅則氏の講演会を予定 令和8年3月に第2回「大リーグ研究に生涯をかけた今里純」特別展の予定</li> <li>・場所／オリナスホール、西脇市郷土資料館の予定</li> <li>・内容／講演会及び、膨大な資料の中の一部、スコアブック、バット、ボール、写真等の展示。</li> <li>・PR／関係者へのDM、ポスター・チラシ、報道関係等</li> </ul>					
⑥	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日米プロ野球の懸け橋として活躍された今里氏の功績を広く知っていただくことができる</li> <li>・丸山完二、鈴木啓示、森脇浩司をはじめ多くのプロ野球選手を輩出している西脇市のさらなるアピールができる。</li> <li>・野球関係者、子どもたちへ野球への興味・関心を育む。</li> <li>・市プロ野球出身者による野球教室等の開催への布石となる。</li> </ul>					
⑦	事業の特色	<p>歯科医師だった故・今里純氏は、進駐軍向けの短波放送で大リーグ中継を聴いて試合のスコアをつけていた。幾度も連絡を重ねるうちに「ドクター・イマザト」の名前が各球団関係者の知るところとなる。</p> <p>その後、昭和30～40年代、日本プロ野球コミッショナーの特別顧問として、阪神タイガースが初めてフロリダでキャンプを張ったときは今里が下交渉のすべてを引き受け、キャンプにも同行して通訳を務めるなど、日米野球界に多大な貢献をした。大リーグ全球団からフリーパスが贈られた唯一の日本人として、今、自宅には膨大な量のコレクションがある。</p> <p>当時のスコアブックやハンク・アーロンのサイン入りバット、日米プロ野球の有名なサインボール、吉田、村山、山内との交友の記録などを掲示し、西脇が生んだ大リーグ研究に生涯をかけた今里純氏の偉業をたたえるとともに、今回は今里氏の業績をまとめた書籍の刊行に合わせ、元大リーガーの講演会及び第2回特別展を開催し、多くの方に見ていただきたい。</p>					
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会を見て、第3弾の企画展を開催</li> <li>・市プロ野球出身者による野球教室、講演会等の開催</li> <li>・常設展示場の検討</li> </ul>					